

令和 6 年度補正予算の主な事業の執行状況（一般会計）（令和 7 年度決算時点）

（単位：億円）

府省庁名	事業名	令和 6 年度決算						令和 7 年度決算						類型	備考
		補正予算額	移替等増減額	歳出予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	前年度繰越額	移替等増減額	歳出予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額		
厚生労働省	最低賃金の引上げに対応する中小企業・小規模事業者向け生産性向上支援	297	-	297	146	139	11	139	-	139	139	-	0	①	
厚生労働省	人口減少や医療機関の経営状況の急変に対応する緊急的な支援パッケージ（生産性向上・職場環境整備等事業）	828	-	827	-	827	-	827	-	827	793	-	34	③	不用額を生じたのは、生産性向上に取り組む医療機関数が当初の見込みを下回ったため。
厚生労働省	人口減少や医療機関の経営状況の急変に対応する緊急的な支援パッケージ（医療需要等の変化を踏まえた医療機関に対する支援）	428	-	428	-	428	-	428	-	428	428	-	-	③	
厚生労働省	人口減少や医療機関の経営状況の急変に対応する緊急的な支援パッケージ（産科・小児科医療確保事業）	55	-	55	-	55	-	55	-	55	54	-	0	③	
厚生労働省	介護人材確保・職場環境改善等に向けた総合対策（介護人材確保・職場環境改善等事業）	806	-	805	0	805	-	805	-	805	772	-	33	③	不用額を生じたのは、都道府県からの交付申請額が予定を下回った等のため。
厚生労働省	障害福祉人材確保・職場環境改善等に向けた総合対策（障害福祉人材確保・職場環境改善等事業）	258	-	258	245	12	-	12	-	12	2	-	10	③	不用額を生じたのは、障害福祉サービス事業所等からの申請が見込みよりも少なくなったため。
厚生労働省	医師偏在是正に向けた医師不足地域の診療所の承継・開業の支援、リカレント教育の実施及び医師のマッチングの支援等	109	-	109	-	109	-	109	-	109	21	-	87	③	不用額を生じたのは、都道府県からの交付申請額が予定を下回った等のため。
厚生労働省	訪問介護の提供体制の確保、障害者就労施設の経営改善等の支援	107	-	107	-	107	-	107	-	107	23	-	83	③	不用額を生じたのは、各自治体における事務作業の逼迫等により、想定した実施自治体数を下回った等のため。
厚生労働省	創業エコシステム・創業クラスターの発展支援	100	-	100	-	100	-	100	-	100	51	-	48	③	不用額を生じたのは、事業者が効果的に事業を進めたことにより、事業実績報告において当初の契約額よりも確定額が減少した等のため。
厚生労働省	がん・難病の全ゲノム解析等の推進	114	-	113	-	113	-	113	-	113	111	-	1	①※	
厚生労働省	マイナ保険証の利用促進に向けた取組	353	-	353	-	352	0	352	-	352	338	-	14	③	不用額を生じたのは、当初予定していた交付申請額を下回ったため。
厚生労働省	全国医療情報プラットフォームや電子カルテ情報共有サービスの構築、電子処方箋の更なる全国的な普及拡大等の促進	249	6	255	-	255	-	255	-	255	223	-	31	③	不用額を生じたのは、本事業を実施する都道府県の数が想定より少なかったこと、電子処方箋を導入した医療機関・薬局が見込みを下回ったこと等のため。
厚生労働省	診療報酬改定DXの取組の推進	94	-	94	2	92	-	92	-	92	72	-	19	③	不用額を生じたのは、当初予定していた交付申請額が下回ったため。
厚生労働省	被災者へのこころのケアの充実を図るための支援	2	-	1	0	1	-	1	-	1	1	-	0	③	
厚生労働省	介護・障害福祉における介護テクノロジーの導入、協働化等の支援	223	-	223	1	221	0	221	-	221	217	-	4	③※	不用額を生じたのは、障害福祉現場におけるテクノロジー導入・活用に係るノウハウやスキルが不足しており、取組の浸透に課題があったこと等のため。
厚生労働省	防災・減災、国土強靱化のための 5 か年加速化対策等（社会福祉施設等）	145	-	144	36	107	0	107	-	107	87	3	16	②	不用額を生じたのは、内示後に事業の中止等が発生したため。
厚生労働省	個人防護具の備蓄等事業	158	-	158	-	158	-	158	-	158	43	-	115	②	不用額を生じたのは、各物資の最低配布枚数の引き上げ等のため、備蓄数量の適正化が進んだことによる、保管料の減額等のため。
厚生労働省	感染症対策強化事業	110	-	110	4	105	0	105	-	105	77	-	28	①※	不用額を生じたのは、要求時点と執行時点における契約額等の差によるもの。
厚生労働省	介護関連データ利活用に係る基盤構築事業	107	-	107	-	107	-	107	-	107	107	-	-	③	
厚生労働省	公費負担医療制度等のオンラインによる資格確認の取組	106	-	105	-	105	-	105	-	105	96	-	9	③	不用額を生じたのは、自治体からの補助金申請額が見込みを下回ったため。

（注 1）補正予算に計上した事業のうち主要な事業と位置付けているものについて掲載している。

（注 2）各欄の金額は補正予算で計上したもののみを対象として記載している。

（注 3）「補正予算額」は億円未満を四捨五入し、「移替等増減額」、「歳出予算現額」、「支出済額」、「翌年度繰越額」、「不用額」及び「前年度繰越額」は億円未満を切り捨てているため、補正予算額と歳出予算現額が同額の場合でも金額が一致しない場合がある。
また、億円未満の端数がある場合は「0」と、皆無の場合は「-」として表示している。

（注 4）支出済額等の計数は、各府省等において類型欄に記載の以下の類型により整理したものである。

①：既定予算から順次支出しているもの。

②：既定予算とは別の区分により支出しているもの。

③：予算が補正予算のみのもの。

（注 5）類型欄に「※」が付されている事業は、複数の類型で整理しているため、歳出予算現額が最も大きい類型を記載している。